

めばえ通信

通巻 336 号
令和6年3月25日
発行/こども発達センターめばえ

「すべての保護者に感謝を込めて」

卒園児の保護者の皆さん、本日は卒園おめでとうございませう。少し前の記憶になるかもしれませんが、昨年度の全国高校野球選手権大会で、仙台育英高校(宮城)が29回目の出場で初の全国制覇を果たしました。東北勢として悲願の初優勝となり、「大旗 ついに白河の関越える」と話題になりました。仙台育英高校の須江航監督が優勝インタビューで語った内容が、卒園式を前に拝見させていただいた「保護者謝辞」とニュアンスが似ていたので、コロナ禍を機に、参加を控えるようになった在園児の保護者の皆さんにも卒園児保護者のメッセージが届くように、今回掲載したいと思います(『』の中はインタビューの内容です)。

『(今年の3年生は新型コロナウイルス感染拡大の影響で)入学どころか、たぶんおそらく中学校の卒業式もちゃんとできなくて。高校生活っていうのは、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは全く違うんです。青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部ダメだ、ダメだと言われて。活動してても、どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で。でも本当にあきらめないでやってくれたこと、でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、全国の高校生みんなが本当にやってくれて。～目標になるチームがあったから、どんなときでも、あきらめないで暗い中でも走っていったので。本当に、すべての高校生の努力のたまものか、ただただ最後、僕たちがここに立ったというだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらなと思います』

出生、健診、保育所等を利用した時に、「子育てのうまいかなさやしんどさ等が想像と違った」「同年齢の子との違いを感じた」と思い、保護者の皆さんはお子さんの成長にとって最善は何か検討し、私たち児童発達支援センターを選択して下さったと思います。『全部ダメだ、ダメだと言われて。どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で』子育てしてきた部分もある保護者の方の心情は、内容は違えど、当たり前と思っていたことが当たり前でなかった『』内の状況と近しかったのではないのでしょうか？

期待に添えないことも多かったと思いますが、私たちは、保護者の皆さんが子育てを『本当にあきらめないでやってくれたこと』を、応援しながら伴走する中で知っています。子育ての時間は『すごく密なので』今まで感じたことがないような喜怒哀楽の感情を抱き、避けてきたような体験もこなしてこられたと思います。ここは一つの通過点ですが、その『努力のたまもの』が、前を向いてこの先も歩いていく原動力になるでしょう。そんな卒園児の保護者の皆さんは、在園児の保護者の目標や道標であり、その背中・姿勢に勇気をもらい、『どんなときでも、あきらめないで暗い中でも走っていけます。これまで、お子さんの成長を支える場所として私たちを選んで下さり、本当にありがとうございました。改めて、この1年のすべての保護者の皆さんのがんばりをたたえさせていただきます。

こども発達センターめばえ 所長 鈴木紀子

「こどもまんなか社会」で語られる子どもの思いや願い



早いもので、今年度も残りわずかとなりました。今年度は、令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが5類に移行し、また一步日常が戻りつつのスタートでした。一方、with コロナの状況は変わらず、季節性の感染症の流行等も重なり、お子さんの御家庭での体調管理や、施設運営については、保護者の方々に引き続き大きな御協力を頂きながらの一年になりました。

さて、令和5年度は子ども達に関わる国の動向に大きな変化がありました。令和5年4月の『こども基本法』の施行と、『こども家庭庁』の発足です。また、これまで以上に子どもに関する話題が世の中で取り上げられてきたように思います。TVやインターネット等のメディアで、「異次元の少子化対策」「こどもまんなか社会」「こども誰でも通園制度」等の言葉を耳にされた方もいらっしゃると思います。

こども基本法やこども家庭庁は、全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送る事ができる社会の実現を目指し、子ども・子育てに関する様々な政策を総合的に進めていく事を目的としています。「こどもまんなか社会」という言葉に表されるように、これまで以上に子どもに関する取り組みを中心(まんなか)にして社会の在り方を考え、子どもの声(意見)を聞き、子どもの権利を保障していく為に、国が動き出しました。少子化対策は“将来の働き手を確保する”というねらいもあるようですが、子どもを中心にした社会はすべての人に優しいという考えのもと、その一步を歩みだしたと言えそうです。発達に支援を必要とする子ども達への政策も、こども家庭庁の中で検討されるようになりました。



そうした流れの中で、令和5年12月に『幼児期までのこどもの育ちに係わる基本的なビジョン(はじめの100ヶ月の育ちビジョン)』というものが出されました。このはじめの100か月は子どもの生まれる前から生まれた後、幼児期～小学校1年生くらいまでの時期を指します。「はじめの100か月は生涯の幸せを育てる。」という言葉から、この時期のこどもの育ちを丁寧に見守り支えていく事が重要視されています。またその為には、子どもに直接関わりのある大人だけでなく、社会に暮らす全ての人で、子どもへの理解やこれから「こどもまんなか社会」を目指す将来像(ビジョン)を共有していきたい事が目的として記されています。その内容については多くの人に知ってもらう為に、比較的短い時間で読む事が出来る【やさしい版】というものが出されています。抽象的な表現が多いですが、これから子ども達に対して何を大事にしていきたいと考えているかがまとめられていると思います。興味を持たれた方は、是非ご覧になってみてください。



こども家庭庁 HP『幼児期までのこどもの育ちに係わる基本的なビジョン
(はじめの100ヶ月の育ちビジョン)』⇒



この育ちのビジョンについて、私が心に留まった事の一つは、「乳幼児期の思いや願い」という項目です。子どもの育ちのイメージとして、この時期の子ども達は、以下のような思いや願いを持ちながら身近な人や周囲の環境（社会）との関わりの中で育っていくと書かれています。

安心したい

身近な人にくっついて、くり返し抱っこを求めたり、触れ合ったりすることで、安心しながら育つ。

満たされたい

「食べたい」「寝たい」「かまってほしい」「愛されたい」などの思いや欲求を、自分のペースやリズムに合わせて満たしてもらうことで、心地よい生活のリズムをつくりながら育つ。

関わってみたい

こども同士や関わりの中で、様々な感情を経験しながら、人との関わり方が培われたり、多様な人や環境（社会）と関わることで、それぞれの違いや個性があることに気づきながら育つ。

認められたい

周囲の人にありのままを受け止められ、尊重され、自分の存在や意思、ペースを認めてもらうことで、自分に自信がついたり、そうした経験から、他者への理解や優しさを育んだりしながら育つ。

これらの思いや願いは、子ども達の行動の裏にあるこころの動きを汲み取る中で見えてくる事です。私たち職員が日々の関わりの中で子ども理解する時に、大事にしている視点と重なると感じました。

そして、育ちのビジョンの中では、発達につまづきを持つ子ども達の事についても書かれています。そこでは発達のつまづきや障害を特別なものと捉えず、どの子も一人ひとりの育ちは多様で違う事を前提に、個々の求めている事に応じて丁寧な支援をしていく考えが大事であるとはっきり書かれています。日々の生活に照らし合わせると、例えば「安心したい」「満たされたい」という願いに対して、その子の持つ感覚の敏感さや睡眠リズムの不安定さ等が影響したり、「関わってみたい」「認められたい」という願いに対して、人との関わりへの不安さやコミュニケーションの苦手さ、その子の興味関心の向け方等が影響したりする事が考えられそうです。しかし、どの子も「安心したい」「満たされたい」「関わってみたい」「認められたい」という思いや願いを持っている子どもである事に変わりはありません。一人ひとりの子ども達の発達の様子を保護者の方と一緒に確認させて頂きながら、子ども達の思いや願いをかなえていけるように取り組んでいきたいと改めて感じさせられました。

育ちのビジョンの中で語られるこうした子どもへの優しいまなざしが、社会全体で共有されていくと嬉しいなと思います。私自身も子ども達に関わる職員として、また地域に暮らす一人の大人として、できる事をこれからも取り組んでいきたいと思っています。一年間、ありがとうございました。



災害と食事

災害はある日突然発生します。慌てず、まず第一に命を守ってください。

命に別状がなければ次の心配は食事ではないでしょうか。能登半島地震でも断水、停電が続き、暖も取れず、温かい食べ物もなかなか口にできない状況が続きました。

そんな時、「パッククッキング」を思い出してください。

パッククッキングとは・・・ビニール袋に食材を入れて、湯せんで火を通す調理法

- 特徴
1. 水を節約できる・・・ひとなべ分の水で何回でも使用できる
 2. 配膳の手間が楽になる・・・一人1個で調理でき、袋を開くだけで食べることができる
 3. 複数料理の同時調理ができる
 4. 必要な量だけ作ることができる
 5. 日常で使う道具と食材でできる

◎用意するもの カセットコンロ・なべ・水・食材・ポリエチレンの袋（不透明で耐熱温度 130℃）

パッククッキングレシピ

	材料	作り方
ごはん	・米1カップ ・水 1.5 カップ	①米を袋に入れ、水に30分つける ②①の空気を抜いてしばり、沸騰した鍋に入れ30分加熱する
親子丼	・焼き鳥缶1缶 ・玉ねぎ 1/2 個 ・卵 1 個 ・しょうゆ小さじ1	①玉ねぎを切り、袋に材料をすべて入れ、なじむようによく混ぜる ②①の空気を抜いてしばり、沸騰した鍋に入れ30分加熱する ③ごはんを具をのせる
焼きそば	・蒸し麺（調味料付）1 袋 ・野菜（カット野菜）適宜 ・ベーコン 2 枚	①玉ねぎ野菜、ベーコンを切り、袋に材料をすべて入れ、なじむようによく混ぜる ②①の空気を抜いてしばり、沸騰した鍋に入れ 15 分加熱する

※焦げつくこともなく、袋に入れて火にかけるだけで何種類も料理が出来ます。

いざという時に実践できるよう普段でも子どもと一緒にやってみてください。

給食室

〈 4・5月のおもちゃ図書館 〉

菊川おもちゃ図書館あそぼ
会館場所：プラザけやき
検診ホール 児童館あそぼの部屋
4月13日（土） / 5月11日（土）
10：00～11：30 13：30～15：00
連絡先：0537-37-1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
1階 Myラボ
4月21日（日） / 5月19日（日）
10：00～12：00 13：00～15：00
連絡先：0537-22-1309

発行者・編集 / こども発達センター めばえ

ホームページもご覧ください。

TEL) 0537-23-2312 FAX) 0537-23-0008

E-MAIL) htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp



4月の予定



4月		心理	バス
		OT	○14:30 発 △13:00 発
1	月	春休み (～4日まで)	
2	火	園庭開放 (9:00～15:00) 3/27日、28日、29日、4/2日、3日 ※ご利用の方は来園前に御一報下さい。 園庭で使用した玩具は片づけをお願いします。 きためばえに移られる方も、ぜひご利用ください。	
3	水		
4	木		
5	金		
5	金	午前：入園式 (新入園児のみ) 午後：始業式 (継続児のみ)	
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水		○
11	木		△13:00
12	金		○
13	土		
14	日		
15	月		○
16	火		○
17	水		○
18	木		△13:00
19	金		○
20	土		
21	日	クリーン活動 (8:00～10:00)	
22	月	継続児面談週間 (年長)	○
23	火		○
24	水		○
25	木	保育参加日	×
26	金		○
27	土		
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火		○

お知らせ

○3/27 (水)～4/4 (木) 春休み
健康・安全には十分気を付けて、お休みをお過ごしください。
※緊急時はめばえに御連絡下さい。
0537-23-2312
閉園時は携帯電話へ転送されます。

○5日 (金) 入園式・始業式
午前：入園式…新入園児と保護者
午後：始業式…継続児と保護者
詳細は、お渡ししてあるお便りをご確認ください。

○クリーン活動について
クリーン活動は4/21 (日)・9/29 (日)に実施しますので、どちらか1回以上の参加のご協力をお願いします。ご希望は4月に確認をさせていただきます。

5月の予定

- 7日 (火) 新入園児バス開始
- 16日 (木) 保護者参加日
(保護者総会・クラス懇談)
- 27日 (月)～31 (金) 継続児面談週間 (年中)
- 28日 (火) 尿検査1次
- 30日 (木) 保育参加日

